

「徹底攻略 確率統計」(共立出版, 2012)の訂正

2020.1.29 真貝寿明

初版 3刷 (2014/9) について, たいへん申し訳ありませんが, 次の訂正があります.
このお知らせは, <http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/book/> にて更新しています.

以下は, 4刷で訂正しています.

場所	誤	正
p50 例題 1.20	解答例の (1) と (2)	(A) と (B) に
p63 例題 1.40	解答下から 2 行目 $= P(A B) \cdot P(\bar{B} S) \cdot P(S) = \dots$	$= P(A \bar{B}) \cdot P(\bar{B} S) \cdot P(S) = \dots$
p63 例題 1.40 傍注	(4) の 3 行目 $P(\bar{S} A \wedge \bar{B}) = 2/9$	$P(\bar{S} A \wedge \bar{B}) = 1/9$
p122 (3.1.13)	$P(\bar{X} - \mu < \varepsilon) \geq 1 - \frac{\sigma^2/n^2}{\varepsilon^2}$	$P(\bar{X} - \mu < \varepsilon) \geq 1 - \frac{\sigma^2/n}{\varepsilon^2}$
p124 図の中央	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = 50/6)$	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = (50/6)^2)$
カバー 裏表紙	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = 50/6)$	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = (50/6)^2)$

以下は, 5刷で訂正しています.

場所	誤	正
p97 3 行目	グラフは, n が大きくなるほど	グラフは, λ が大きくなるほど
p111 (2.6.9)	シグマ記号内の R_{ij}	R_{ij}^{-1} に

以下は修正・追記です.

場所	誤	正
p iv 序 下から 4 行目	http://www.is.oit.ac.jp/~shinkai/book	http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/book
p55 下の傍注	男の子の数が少なくなる.	男女比はどうなるだろうか.
p94 例題 2.22	傍注追加	この結果, 大まかに 30 ± 4.58 人と予測することができる.
p110 表	2010 年の欄 進学率 57% 2015 年の欄 進学者? 進学率?	進学率 56% に 進学者 68 万人 進学率 57% に
p110 下から 8 行目	2010 年では 68.91 点である.	2010 年では 67.80 点, 2015 年では 66.33 点である.
p138 問題 4.2 直前	$ r = 1$ となる条件がわかった.	$ r = 1$ となるのが「データが直線状に分布するとき」であることがわかった.
p194 コラム 32	一番最後に文追加	(その後, この実験は PC へのデータ供給のケーブルの緩みが原因で解析結果が誤っていたことが判明した.)
p241 問題 2.31(3)	$\alpha \geq 6.66$ の面積は, 1.369×10^{-11}	$\alpha \geq 6.66$ の面積は, 2.0×10^{-11} 以下, 正確には 1.369×10^{-11}
巻末 著者紹介		著書追加 『徹底攻略 確率統計』(共立出版, 2014) 『現代物理学が描く宇宙論』(共立出版, 2018) 『宇宙のつくり方』(共訳, 丸善出版, 2016) 『ブラックホール・膨張宇宙・重力波』(光文社新書, 2015) 『日常の「なぜ」に答える物理学』(森北出版, 2015) 『演習 相対性理論・重力理論』(共訳, 森北出版, 2019)